



八丈島デジタルスクールによる IT人材育成事業 結果報告

令和4年3月
東京都総務局行政部

目次

1. 実施結果報告

1. ITエンジニア育成講座
2. フロントエンド・バックエンド育成講座
3. スマホ・パソコン初心者講座（ITリテラシー講座）
4. スキルアップ講座

2. 本事業を通じて移住を促すための課題

（別添） 詳細

1. 実施結果報告

1. ITエンジニア育成講座（1）

1. 申込結果

定員20名に対し、申込者27名の申し込み

2. 最終学習者

23名が4か月間継続学習し、修了者11名で期間を修了

3. 実績・効果

(1) 最終学習者のうち島内参加者13名

修了者のうち半数近い**島内参加者5名**がITエンジニアとしての基礎スキルを身に付け、八丈島のITスキルの先頭に立つ新たな人材として卒業。

(2) 最終学習者のうち島外参加者10名

- ・ 移住に関心を持つ方は5名、うち2名が将来的な移住を検討
- ・ 個々の事情で移住が叶わない場合にも、観光などでの引き続きの訪問を希望
- ・ 移住については、居住地や就職先の確保という条件付きでの関心

1. 実施結果報告

1. ITエンジニア育成講座（2）

4. 結論

八丈島の関係人口の創出及び、デジタル技術の活用機運醸成（IT人材創出）に一定の効果があった。

5. 今後の取組

令和4年度以降は、民間事業者主体による本取組の自走化を働きかける。

1. 実施結果報告

2. フロントエンド・バックエンド育成講座

1. 申込結果

定員12名のところ、15名（全員島外）の申し込みがあり、全て受け入れ

2. 最終学習者

フロントエンド講座累計12名、バックエンド講座累計3名が修了

3. 実績・効果

Uターン、Iターン希望者4名がスキルを身に着けたうえで移住

4. 結論

想定を上回る需要があることがわかり、八丈島への移住者を含む関係人口の創出及び、デジタル技術の活用機運醸成（IT人材創出）に一定の効果があった。

5. 今後の取組

令和4年度以降は、民間事業者主体による本取組の自走化を働きかける。

1. 実施結果報告

3. スマホ・パソコン初心者講座（ITリテラシー講座）

1. 申込結果

島内にて募集し、累計100名程度を想定していた中、全回累計で288名の申し込みがあった。重複を除くと、56名の方が申し込み。

2 開催状況

島内感染症拡大の状況を鑑み、2月～3月中旬までの開催を中止。3月までの開催を6回に縮小した結果、1月までで累計99名が参加した。

3. 実績・効果

高齢者を中心に想定以上の参加があり、講義内容についても満足度が高かった。メールアドレスの作り方を学習する等、参加者がスマホでの連絡ツールを増やすことにつながった。

4. 結論

島内のスマホ利用に関するITリテラシー向上により、デジタルデバイド（インターネットやパソコン等の情報通信技術を利用できる者と利用できない者との間に生じる格差）解消の第一歩となった。

5. 今後の取組

民間事業者主体による本取組の自走化を働きかける。

1. 実施結果報告

4. スキルアップ講座

1. 申込結果

定員100名のところ、応募多数のため178名を受け入れ。

2. 登録状況

総コース登録数は530コースで、申込者総数に対して平均一人当たり2コース以上登録

3. 実績・効果

島民の2%が利用し、オンライン教材を通じてスキルアップ学習を実践

4. 結論

島内のデジタル技術の活用機運醸成（デジタルによる学習機会創出）に一定の効果があった。

5. 今後の活動

民間事業者主体による本取組の自走化を働きかける。

2. 本事業を通じて移住を促すための課題

ITエンジニア講座への島外参加者のうち、
2名が将来的に八丈島への移住、八丈島関連事業での就職を希望。
アンケート回答から、以下の課題が確認された。

◆ 居住地の確保

◆ 就職先の確保（産業の活性化）

これらの課題解決により、
八丈島に魅力を感じているが移住を見送った参加者や、
将来的に移住を希望している参加者の後押しをすることが可能。

移住について、まだわからない、移住しないと回答した方の理由

【アンケート回答抜粋】

- 八丈島での就職先がない
- 居住地がなかなか見つからなそう。台風が多いなど不便なことが多そう。
- 自然が多いところに住みたい気持ちはあるが、島である必要性を感じない。
- コンビニや娯楽施設がない。マウスやちょっとしたものが売ってなく、すぐに手に入らない。
- 病院が少ない。魅力的な仕事がない。

(別添) 詳細

(詳細) 目次

1. 各講座受講者特長

2. 実施概要

1. ITエンジニア育成講座
2. フロントエンド・バックエンド育成講座
3. スマホ・パソコン初心者講座 (ITリテラシー講座)
4. スキルアップ講座

3. 自走化にあたっての課題、解決策

1. ITエンジニア育成講座
2. フロントエンド・バックエンド育成講座
3. スマホ・パソコン初心者講座 (ITリテラシー講座)
4. スキルアップ講座

1. 各講座受講者特長

講座	参加された受講者の傾向
ITエンジニア育成講座	島外・島内のエンジニアスキル習得希望者 ①スキルを身に付けて転職・異動・将来的な働き方変革を目指す ②一般的なスキルとしてITスキルに興味があり参加 ※八丈島への移住興味、個人ではなくクラス制をメリットに感じて参加
フロントエンド・バックエンド育成講座	島外在住のIターン、Uターン希望者 ① デジタルスキルを身に付けリモートワークで転職 ② ワークেশョンを兼ねデジタルスキルを身につける ③ WEB開発を極めたい（コストパフォーマンスが魅力）
スマホ・パソコン初心者講座 （ITリテラシー講座）	島内在住のスマートフォン、PC初心者 主に高齢者。これから購入を検討されている方など
総合スキルアップ講座	島内在住者 ①オンラインで学習をしたい ②新たなスキルを取得したい ③特定の講座に興味がある（Excelなど）

2. 実施概要

1. ITエンジニア育成講座（1）

定員：20名（最大受け入れ可能人数40名）

申込者：27名

最終学習者：23名（島内13名、島外10名）

修了者：11名（島内5名、島外6名）

約半数がカリキュラム修了条件を達成。

1日3時間程度の学習を4か月間行う分量を学習し、エンジニアとしての基礎学習を修了。

【修了者進路内訳】

7名：現在の職場でスキルを活かしたい

2名：高校生

1名：エンジニアとしての就職を検討

氏名	修了判定	講師による技術評価（30点満点）	最終テスト正答率（学習内容を出題）
島外参加者	修了	30	100%
島外参加者	修了	30	100%
島外参加者	修了	29	52%
島内高校生	修了	28	80%
島内	修了	27	100%
島外参加者	修了	24	96%
島外参加者	修了	22	82%
島内	修了	22	34%
島内高校生	修了	19	50%
島外参加者	修了	18	88%
島内	修了	18	98%
島内	未修了	21	
島外参加者	未修了	20	56%
島外参加者	未修了	20	58%
島外参加者	未修了	19	
島内	未修了	15	
島内	未修了	12	
島外参加者	未修了	8	
島内	未修了	5	
島内高校生	未修了	5	
島内高校生	未修了	5	30%
島内	未修了	4	
島内高校生	未修了	4	36%

2. 実施概要

1. ITエンジニア育成講座（2）

11月13日（土）

八丈島での入学式&オリエンテーション

～12月25日（土）

オンライン学習（イーラーニング、土曜AMオンラインレッスン）

12月26日（日）～12月31日（金）

八丈島合宿

1月～

オンライン学習（イーラーニング、システム開発実践）

3月13日（日）

修了式

2. 実施概要

2. フロントエンド・バックエンド育成講座

開講期間

受講生

▼フロントエンドコース

2021年11月 入校 受付終了			2021年12月 入校 受付終了		
日付	曜日	授業有無	日付	曜日	授業有無
11月15日	月	○	12月6日	月	○
11月16日	火	○	12月7日	火	○
11月17日	水	○	12月8日	水	○
11月18日	木	○	12月9日	木	○
11月19日	金	○	12月10日	金	○
11月20日	土	—	12月11日	土	—
11月21日	日	—	12月12日	日	—
11月22日	月	○	12月13日	月	○
11月23日	火	—	12月14日	火	○
11月24日	水	○	12月15日	水	○
11月25日	木	○	12月16日	木	○
11月26日	金	○	12月17日	金	○
11月27日	土	—	12月18日	土	—
11月28日	日	—	12月19日	日	—
11月29日	月	○	12月20日	月	○
11月30日	火	○	12月21日	火	○
12月1日	水	○	12月22日	水	○
12月2日	木	○	12月23日	木	—
12月3日	金	—	12月24日	金	—
12月4日	土	—	12月25日	土	—
12月5日	日	—	12月26日	日	—

▼バックエンドコース※2月はフロントエンドも実施

初級編：2022年1月 入校 受付終了			中級編：2022年2月 入校 受付終了		
日付	曜日	授業有無	日付	曜日	授業有無
1月4日	火	—	2月1日	火	○
1月5日	水	—	2月2日	水	○
1月6日	木	○	2月3日	木	○
1月7日	金	○	2月4日	金	○
1月8日	土	—	2月5日	土	—
1月9日	日	—	2月6日	日	—
1月10日	月	—	2月7日	月	○
1月11日	火	○	2月8日	火	○
1月12日	水	○	2月9日	水	○
1月13日	木	○	2月10日	木	○
1月14日	金	○	2月11日	金	—
1月15日	土	—	2月12日	土	—
1月16日	日	—	2月13日	日	—
1月17日	月	○	2月14日	月	○
1月18日	火	○	2月15日	火	○
1月19日	水	○	2月16日	水	○
1月20日	木	○	2月17日	木	○
1月21日	金	○	2月18日	金	○
1月22日	土	—	2月19日	土	—
1月23日	日	—	2月20日	日	—
1月24日	月	○	2月21日	月	—
1月25日	火	○	2月22日	火	—

定員：12名
累計：15名

※島外15名
※2つのコース受講者1名

移住定住者
合計：4名

授業日は、9:00-18:30（内1時間休憩）になります。

2. 実施概要

3. スマホ・パソコン初心者講座（ITリテラシー講座）

コロナ感染拡大による開催自粛により、全6回開催。

回	日付	時間	場所	授業内容	備考	申込者数	参加者数	
スマートフォン	1	2021年 11月28日	10:00 - 11:30	商工会研修室：大賀郷 2551- 2	基本操作（電源・マナーモード・簡易な文字入力）	申込多数のため商工会研修室に場所変更	19	17
	2	12月5日	10:00 - 11:30	商工会研修室：大賀郷 2551- 2	電話のかけ方、電話帳登録と履歴、音量の変更		27	23
	3	12月19日	10:00 - 11:30	末吉小学校：末吉 2648	WiFi設定、プリインストールアプリの利用		25	19
	4	2022年 1月9日	10:00 - 11:30	大賀郷公民館：大賀郷 3060	いろいろな文字入力、メールの送信と受信、写真の送付		30	21
	5	1月16日	10:00 - 11:30	三根公民館：三根 347-1	WEB 検索、よく見るページの保存方法	島内感染状況を鑑み3月13日（日）に変更	30	
	6	1月30日	10:00 - 11:30	櫻立公民館：櫻立 2027	カメラ機能、地図機能	島内感染状況を鑑み3月20日（日）に変更	29	
	7	2月6日	10:00 - 11:30	中之郷公民館：中之郷 2613	SNSアプリの利用	島内感染状況を鑑み3月27日（日）に変更	27	
パソコン	8	2月20日	10:00 - 11:30	商工会研修室：大賀郷 2551-2 6-3	電源、マウスの操作、文字入力、文章保存	島内感染状況を鑑み延期（中止）	25	
	9	2月27日	10:00 - 11:30	三根公民館：三根 347-1	安全に使うための留意点、簡単な写真の操作	島内感染状況を鑑み延期（中止）	25	
	10	3月6日	10:00 - 11:30	大賀郷公民館：大賀郷 3060	Excel 講座、PowerPoint 講座	島内感染状況を鑑み延期（中止）	25	
	11	2月20日	13:00 - 14:30	商工会研修室：大賀郷 2551-2	[追加講座]電源、マウスの操作、文字入力、文章保存	島内感染状況を鑑み延期（中止）	9	
	12	2月27日	13:00 - 14:30	三根公民館：三根 347-1	[追加講座]安全に使うための留意点、簡単な写真の操作	島内感染状況を鑑み延期（中止）	8	
	13	3月6日	13:00 - 14:30	大賀郷公民館：大賀郷 3060	[追加講座]Excel 講座、PowerPoint 講座	島内感染状況を鑑み延期（中止）	9	
スマートフォン	5	3月13日	10:00 - 11:30	三根公民館：三根 347-1	WEB 検索、よく見るページの保存方法	島内感染状況を鑑み延期（中止）	30	
	6	3月20日	10:00 - 11:30	櫻立公民館：櫻立 2027	カメラ機能、地図機能	島内感染状況を鑑み延期（中止）	29	
	5	3月27日	10:00 - 11:30	中之郷公民館：中之郷 2613	SNSアプリの利用			10
	6	3月27日	13:30 - 15:00	中之郷公民館：中之郷 2613	SNSアプリの利用		27	9

2. 実施概要

4. スキルアップ講座

■ ITスキルアップ講座〈Learning Space〉 ※12月末申込〆切

定員：100名

申込者：**178**名

スマホ・パソコンで学べるオンライン学び放題サービス（250コース以上）を無料提供。

講座内のコース修了者にはオープンバッジを授与。

結果、総コース登録数は**530**コース。申込者総数に対して平均一人当たり2コース以上を学習。

日付	申込人数	1コース以上修了者	総コース登録数
12月3日	42	0	15
12月10日	56	5	67
12月17日	109	14	112
12月24日	146	18	234
1月7日	163	26	276
1月14日	167	27	284
1月21日	176	30	299
1月28日	176	36	319
2月4日	176	38	335
2月11日	177	39	398
2月18日	178	40	405
2月25日	178	40	423
3月4日	178	40	423
3月11日	178	40	426
3月18日	178	40	430
3月25日	178	42	486
3月30日	178	44	530

修了状況

修了コース数	230
総コース登録数	530
コース修了率	43%
一人当たりの修了コース数	5.227273

学習に着手された方は、
一人当たり5コース以上を修了。

4. 自走化課題・解決策

1. ITエンジニア育成講座

民間企業による自走にあたっては、受講料の変更が必要。自走プランとして、

1、受講料 45万円

合宿は、交通宿泊自己負担で現地集合。

2、最低実施 30名（島の内外）

【課題】

1. 集客

集客期間1か月だったがweb広告とチラシ配布により定員以上の集客が実現できた。一方で大学生を中心とした20代向けの追加アプローチ施策の時間が確保できなかったほか、ポスターを含めた島内周知効果による口コミ、東京都のプレスリリースにより知名度を確保できたため、自走化においては十分な集客期間を設けて周知することが必要。

2. 開講前説明

未経験者OKとしたが、「エンジニア」に対するイメージが漠然としすぎていた場合や、目的意識が弱い場合などに途中リタイヤが生じた。難易度の高いスキルのため、事前の予想通りではあるが、申込から開講までの間にエンジニア、講座内容、講座終了後のイメージについてより丁寧な説明をすればさらにミスマッチを抑制できると思われた。同様に移住についても、住む場所の確保について有力な情報が最初から提供できると移住希望者を取り込めた可能性がある。

3. 移住施策

エンジニアスキル取得目的を第一としたため、スキルアップ目的として、現在の勤め先（または自身の事業）でのキャリアアップ目的の参加者が多かったため、移住を決断するまでには至っていない。また、時期を冬以外にし、観光は各自の自由とするのがよい。

4. 自走化課題・解決策

2. フロントエンド・バックエンド育成講座

民間企業による自走にあたっては、スケジュールと受講料の変更が必要。自走プランとして、設備改築後に1週間の合宿で受講料98,000円（往復交通費含まず）

1. 集客

【課題】

現在の集客方法は、費用対効果が悪く一人集客するために費用が高くなってしまった。
また、八丈島のコミュニティーの集客が多く、限界がきてしまう。
そのため、集客方法は課題と考えている。

【解決策】

費用対効果を考えターゲットにしっかりと届くような、ピンポイントでのPR施策も必要がある。

2. 滞在時間

【課題】

約3週間という合宿期間は、休暇が取れないため断念する生徒が発生してしまった。

【解決策】

短期集中滞在でできるような仕組みを考える必要がある。滞在中は、対面でしか学習できない内容にして、ある程度の勉強は、自分で行って来てもらうなどの対策が必要。

3. 教材内容

【課題】

初心者かつ長期対面用教材になってしまっているため日を追う毎にレベルにバラツキが生じた。

【解決策】

授業前にレベルの足並みを揃えて合宿に入る流れを作り
短期集中滞在でプロ並みのスキルが習得可能な学習プログラムが必要。

4. 自走化課題・解決策

3. スマホ・パソコン初心者講座（ITリテラシー講座）

民間企業による自走にあたっては、受講料の設定が必要。自走プランとして

- 1、受講料 1人1回 3,000円
- 2、最低参加者 20人

【課題】

1. 集客

チラシ全戸配布と広報誌掲載の影響が強い。集客におけるSNSの活用による、効率的なリアルタイムでの情報発信の強化。
講座の中でメールなどの使い方を学んだあとは、その後の連絡にもメールを活用していただく想定で講義を行う。ただし、対面で質問に答えられる常設窓口（電話・メールが困難な方）の開設もあるほうが望ましい。

2. 講義運営

講義スタッフは島内で募集し十分な人数が確保可能。
運営にあたっては、継続的なスタッフの確保、十分な広さの常設会場、常設端末の確保等が必要なため、有償化が必要

3. 教材内容

内容については第1回より順を追って進めたが、回を追うごとに難しいという感想が増え、同じ内容を複数回にわたって行う必要性を確認。複数回参加をしてくださる参加者も多い。幅広いテーマを用意し、同じ内容を複数回行えるよう定期的な開催が必要。

4. 自走化課題・解決策

4. 総合スキルアップ講座

民間企業による自走プランとして、

1、受講料 1人1万円（1年間）

【課題】

1. 集客・利用

想定100名以上の受講を受け入れた。

一方で、申し込むだけで講座にログインしていない方が半数ほどいる状況であり、当該講座の活用方法について丁寧な周知が必要。

メールでの周知は行っているがリアクションがないため（アンケート協力についても同様）、対面での施策が必要と思われた。ITリテラシー講座開催時に同時サポートを行うなどの工夫が必要。

また、本事業では無料で提供していたため、有料提供となることで集客に影響が出る可能性がある。受講料を減免する仕組みや集客の工夫が課題となる。